

ゴーヘッドズ 速報

Goaheads

第25号 平成20年11月23日

エラーの数は同数！ただその中身が・・・ 後半は優勢だっただけに

2アウト奪取から一挙9点献上！



11月22日瀬谷本郷公園野球場にて、今期4戦目となるPIOLAXと親善試合を行った。今日は、相手監督の不在の中でのゲームだっただけに、きっちり勝利し、「俺がいなかったから負けたんだ」との言い訳を聞く予定で、我がチームは先攻、相手投手は中曽弥でゲームは始まった。先頭打者は、今日初参戦の水原、きっちり5球を粘り四球にて出塁。続く打者は初の2番ぢろー、ぢろーの打球はショートゴロ、しかし、ショートからファーストへの送球が逸れた間に、水原は一挙ホームを狙うもタッチアウト！3番深沢も四球を選び、1アウト1、2塁と依然先制のチャンスは続く。4番竜のショートゴロの間に一挙ぢろーがホームインし、先制点をゲットした。浅沼にも嬉しい発ヒットが飛び出し、以前得点のチャンスが続いたが、今日背中を77にして望んだキャプテンだったが、ショートゴロに倒れ、1点止まりで、初回を終えた。我がチーム先発はキャプテン政司、先頭打者を三遊間に綺麗に抜けたが、2番打者の初球に盗塁を試みた1塁走者を見事、2塁で盗塁刺した、続く打者も空振り三振、3番中曽弥もホームベース手前で1バウンドするボールを振り、空振り三振。しかし、ボールはあまりのボール故に、捕手竜もキャッチング出来ずに、振り逃げを許してしまった。相手チームの中で、1番調子に乗せてはいけない選手の出塁に非常に嫌な感じがしたが、2アウトランナー鈍足故に、チーム内にも心配の風は流れなかった。しかし、ここから悪夢が始まったのである。打者13人に1つの四球、4つの長短打の中に、3つのエラーが重なり一挙9点を献上してしまったのである。結果に、「・・・たら」はないが、エラーしなければ、3点止まりだっただけに、非常に大きく、痛いエラーであった。7安打を打たれた政司であったが、四球は僅か2、後半は3塁も踏ませなかっただけに、痛すぎる初回の失点であった。親善とは云え、初戦は勝負事、やはり勝ってナンボのものだと思う。バッティングは水物だけに、守備、取れるボールは確実に裁き、来るべき得点チャンスに備えよう！残り3試合、ガンバガンバ！ 惜しかったなー、後半は完全にうちのペース